

洗心

古くて  
新しいものを  
現代に



- p2. 新理事長のあいさつ
- p3. 学んでいコウカ土山教室開校
- p4. ゆめっこ保育園「みんなで遊ぶの楽しいな！」
- p5. しまの杜こどもセンター「大きくなーれ」
- p6. しまの杜放課後児童クラブ「バス送迎はじめました！」
- p7. 今、輝いているあなたにクリック

# 理事長就任のあいさつ

平素より皆様には社会福祉法人洗心福祉会の事業運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大において、感染症に罹患されました方々には謹んでお見舞い申し上げます。また、未だ収束の目途が立たない状況の中で、新型コロナウイルス感染防止対策及び安心・安全対策を日々徹底して取り組んでいる職員の皆様に、心から感謝を申し上げるとともに、引き続き職員一同、感染防止の徹底に努めて参ります。

さて、令和3年4月1日より社会福祉法人洗心福祉会の理事長に就任いたしました。

社会福祉を取り巻く情勢が大きく変革期を迎えている時世に、法人の舵取りを担う責任の重さを痛感しながら

早くも数か月が過ぎました。

当法人は昭和53年10月に法人認可を受け、児童福祉事業にはじまり近年の地域福祉ニーズにお応えするべく「高齢者福祉」「障がい福祉」「医療」の4つのサービスについて事業を展開して参りました。この間、ご利用者をはじめ、職員や地域の皆さま、関係各者の多くの方々のご理解とご支援により今日があることに改めて感謝申し上げます。

洗心福祉会は四十三周年を迎えておりますが、社会情勢は大きく変化し、特に事業運営に欠かせないサービスごとに制定されている諸制度も大きく見直しが図られています。制度を遵守した運営を基に、社会や地域を見据えた戦略的な事業運営がとりわけ重要になってきていると感じています。

住み慣れた地域の中で、自分らしく先が見通しにくく変化の激しい時代の中であっても、何よりも地域の皆さまよりのご支援を得ながら、より一層地域の社会資源として皆さまに信頼していただき、安心してご利用いただけるよう職務に邁進していきますので、引き続きのご支援、ご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人洗心福祉会  
理事長 山田 純大

い暮らしを末永く続けられるように、地域全体で支えあう仕組みである「地域包括ケアシステムの構築」「共生社会の実現」が求められており、私たち社会福祉法人にもその期待が寄せられています。地域における様々なニーズに対し、法人理念にも掲げる『人々の生活と社会の変化に常に誠意をもって前向きに取り組む』を、柔軟かつ能動的な姿勢で実践していくなければなりません。

先が見通しにくく変化の激しい時代の中であっても、何よりも地域の皆さまよりのご支援を得ながら、より一層地域の社会資源として皆さまに信頼していただき、安心してご利用いただけるよう職務に邁進していきますので、引き続きのご支援、ご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。



[2]



## 甲賀シルバーケア豊壽園 「学んでいコウカ」 土山教室開校

今年度4月より甲賀シルバーケア豊壽園で「学んでいコウカ」土山教室を開校いたしました。

毎週水曜日に開校し、年間で40回開校する予定で、対象となる子供たちは小学生から高校生まで、受け入れ時間帯は17:50～19:30で運営を行っています。

「学んでいコウカ」とは平成27年に生活困窮者自立支援法内の学習支



4月7日開校式の様子

援事業の事です。  
滋賀県甲賀市が子供たちへの支援に立ち上がり、同年より、第一期生の子供たちと一緒にこの支援事業の取り組みを始めました。  
描いた夢を追い続けられるようにと、思いを込めて「学んでいコウカ」と名付けたそうです。  
この事業は生活困窮家庭の子供たちにおこる、貧困の連鎖を防止するため、生活環境の整備と教育の機会を図り、子供たちが自らの能力を伸ばして、社会で自立していく力を身につけることを目的としています。



甲賀市：岩永裕貴市長が開校式にご参加いただいた様子です。



※レクリエーションの様子

[3]

reporter: ゆめっこ保育園

## みんなで遊ぶの 楽しいな！

ゆめっこ保育園では、令和2年度に園庭が完成し、みんなで戸外遊びを楽しんでいます。保育士とサッカーをしたり、大好きな三輪車やチャイルドカーに乗って活発に走りまわったり、滑り台を楽しむ子どもたちもいます。

又、ちびっこハウスからは「とんとんとん こんなにちは!」「一緒に遊びましょ!」とかわいい会話も聞こえてきます。

目の前には、桑名市総合医療センターがあり、入院患者さんや外来患者さん、そして、お子さんを預けてみえる保護者の方々が、遊んでいる子どもたちの姿をみつけて暖かく見守っています。



[4]



reporter: しまの杜こどもセンター

## 大きくなーれ

しまの杜こどもセンターでは、緑化運動の一環として4,5歳児が夏野菜の苗植え、水やりをしました。植えた野菜苗はピーマン、オクラ、ナス、キュウリ、カボチャ。

各クラスのお当番が毎日、朝夕、水やりをして育てることで日々、野菜の成長に気づくことができます。花が咲いた後には実を付け、小さな実が少しづつ大きくなっていく様子を間近に見ることができ、子どもたちも自分で育てた野菜を「お汁に入れる」「焼いて食べる」と今から楽しみにしています。これからもこうした食育を大切にしていきたいと思います。



[5]

reporter: しまの杜放課後児童クラブ

# バス送迎 はじめました！

令和3年4月から学童保育のバス送迎が始まりました。小学校から「しまの杜放課後児童クラブ」までの距離は徒歩で、20分ぐらいかかります。通学路には、道路に沿って大きな側溝や踏切などの危険な箇所もあります。また、しまの杜こどもセンターに併設されている為、兄弟と一緒に迎えに来ると利用しやすいという保護者の方からの声もあり、校区外の小学校への送迎も始まりました。子どもたちに、バス送迎を通じて乗車マナーや、ルール等を学んでいけるように取り組んでいきます。また、子どもたちの安全を第一に考え、運行をしていくたいと思います。



**編集** 介護の専門職として伝道を体現する法人初のエバンジェリストとなった訳ですが、今の気持ちは如何ですか？

**小角** 今回、入所系の代表として本居次長・海津施設長から推薦して頂いて参加しました。率直な意見として優勝できるとは思ひませんでしたが、良い結果となりホッとしています。

**編集** 自分にとって介護とは?どういった信念を持って日々の介護を行っているか教えて下さい。

**小角** 私は入所系しか経験がありませんが、とにかく安全に過ごして頂けるようにどのような対応がベストなのかを日々観察しながら考えて取り組んでいます。

**編集** 日々の中で、どういった思いでご利用者様と関わっていますか？

**小角** 先程の内容と被りますが、安全に過ごして頂けるように観察力を絶やさずに関わっています。その中で冗談を言いながら一緒に笑って過ごしていくように心掛けています。

**編集** 今日は、ありがとうございました。

**小角** ありがとうございました。

# I KNOW MYSELF SINCE 1978

『I KNOW MYSELF SINCE 1978』は、8市にまたがって事業運営をしている私たちが、自分たちで自分たちのこと(事業所)をもっと知ろう！ということで広報委員が各事業所をレポートしていきます！



## Introduction / はじめに

今回は法人本部があります社会福祉法人洗心福祉会 本町総合事務所とお隣に併設されている福祉用具作業所へ、つまちなか地域総合相談センターの建井とつまちなか保育園の藤岡が取材に行ってきました！



## Arrival/法人本部&福祉用具作業所に到着！

津市の中心地丸之内商店街を抜けると岩田橋が見えてきます。本部のビルまでは徒歩10分くらいで到着しました。

1階は玄関フロアで事務所は2階からになっています。各階の入り口には体温計と消毒スプレーが完備され、感染対策もバッチリです。



## Disturb/事務所&会議室にお邪魔しました。

早速、事務所にお邪魔しました。各階とも広々としたフロアでお仕事をされていました。4階にはミーティングルームや会議室もありました。ちょうどミーティングのところをお邪魔させて頂きました！



## Information and Communication Technology/ICTと今

近年はICT活用が進んでおり、以前は本部に集まって行っていた会議などもリモート化され、各拠点からの参加が可能とのこと。左に写っているのは最近導入されたフクロウくんと、360°のパノラマ映像と音に反応してカメラの自動切り替えをしてくれる優れものだそうです！



## Welfare equipment/福祉用具の作業所

つづいて、福祉用具の作業所を見学させて頂きました。最新のマットレス洗浄機と高速乾燥機があり、なかなか見ることのできない大きな機械に感動！

オゾン消毒室や車いす洗浄機なども見せて頂きました。主に専任の担当の方が用具の洗浄をして下さっているとのこと。大きな吹き出し口のあるエアコンで作業環境も快適だそうです！

今回取材をさせて頂いた本部の皆様、お忙しい中ご対応いただきまして有難うございました！

## Through the interview... / 取材を通じて…

普段お世話になっている本部ですが、じっくり見学をさせて頂いたのは初めてで、きれいな明るいフロアに快適空間を作っているのが印象的でした。仕事効率化のためにICTの活用をどんどん進めており、この大きな法人を支えて頂いているのだと感じました。また、福祉用具作業所では見ることのできない大きな機械や最新式のものなどを見せていただきました。たくさんあるレンタル用品を一つ一つ丁寧に洗浄、消毒、整備などを行っていることを知り、ここもまた介護事業の安心と信頼を支えている要因でもあるのだと思いました。



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月以降に撮影を行ったものはマスク着用で撮影を行わせていただいています。予めご了承頂きますようお願いいたします。

## 法人理念

- ①当法人は、公器として地域社会に貢献する。
- ②当法人は、事業を通じ安心と健康をモットーに、夢と希望を創造する。
- ③当法人は、未来発展を目指し、人々の生活と社会の変化に常に誠意を持って前向きに取り組む。

## 社会福祉法人 洗心福祉会からの お知らせ

社会福祉法人洗心福祉会の令和2年度理事会が3月17日（水）、評議員会が3月25日（木）にそれぞれ洗心福祉会本町総合事務所5階会議室にて開催されました。理事会では理事6名と監事2名が、評議員会では評議員5名のほか、理事及び監事がそれぞれ出席され、社会福祉法人洗心福祉会定款の一部改正する定款についてのほか、管理規程の一部を改正する規程等について、令和3年度の事業計画及び同会計予算についてなどの議案及び報告案件について厳正に審査され、それぞれ原案どおりに可決されました。概要については、社会福祉法人洗心福祉会本町総合事務所3階ロビー掲示板に掲示を、またその内容については膨大なため、同事務所総務課にて閲覧が出来ますので、担当職員までお申出下さい。